

千刈狸の呟き

～ 正月の東京へ行く ～

親戚の挨拶回りが無い正月はめったにない。というわけで、家族で東京へ行くことになった。

子狸のそれぞれの希望のところを聴いて、計画を立て、12月31日にいざ出発。

12月31日は、秋葉原。自称アニメオタクの子狸と同行。ネットで調べた店に行くと、マンションの一室で、若い男のみが入り出す一種異様な雰囲気のお店であった。後は、スタンダードな有名店を3店まわり、まずは大満足。

いよいよ元旦、浅草雷門へ。朝10時前なら、雷門の提灯の前で記念撮影や仲見世で買い物もできた。そのまま、出店の列を抜けて、次の目標の花やしきへ。

開園時間の花やしきは空いていて、目玉のローラーコースターは順番待ちなしで3回続けて乗れた。お化け屋敷や上下にクルクル回るのはカンペンしてもらった。しかし65歳以上禁の絶叫マシン：スペースショットは子狸だけでは不安だったので一緒にのったが、親狸のほうが「オオオオオ」と絶叫する顛末となった。(4Gで空に放り出されるような恐怖感。寿命が縮まるとはこういう体験をいうのだろうか。2年分くらい減ったかな?)。

昼食のころは、結構人出も増えて、どこに乗るにも遅くなった。安全バーやドア戸締り確認を係員がきちんと直接触って行う方式を行っているためもある。(東京ドーム遊園地より丁寧。)

花やしきと同様昼頃より、初詣も人出で混み合い、仲見世は一方通行となっていた。やっと枝道を抜けて待ち合わせ場所の雷門の提灯のあたりにきた。ものすごい初詣の人・人・人・人で交差点をはみ出して並んでいる。最後尾は駐車場らしい。横十数人列になって一步一步進んでいた。警官が、交番前にバンを止めて、屋根の上から注意をスピーカーで怒鳴っている。日本人は、本当は信心深いのか??

後日、地元人に聞いたら初詣と三社祭りは外出を避けるらしい。

狸一家は別行動をとっていたため、初詣の列に阻まれて合流できなくなった。携帯にて「おーい。何処にいる?」、「00というプラカードの下、初詣の列のすぐ横!」。待つこと30分、やっと交差点が開き会えた。

銀座松屋の広告があったので予定を変更して銀

座へ行ってみたけれど、元旦の銀座は店がほぼ全部休みで人通りも少ない。開いているのは、数寄屋橋のロッセリアくらいであった。

翌日の2日は、子狸の「零戦が見たい、見たい!!」という希望で、ネット検索して見つけた国立科学博物館(上野)。2日からの開館なので、こちらも朝が狙い目とみて、開場時間にあわせて早起きした。正解であった。午前9時は空いていたが、10時ごろからは込み始めた。にかほ市のフェライト科学館に似た実験コーナーで子狸たちが狂喜し、遊び始めた。係員も各実験器具に1人で配置されていた。(平日もついているのだろうか?すごい人件費だなといらぬ心配をしてしまう。)昼食を銀座：インド料理アショカ(かつてのインド政府公認の店の再開店)に予約を入れたため、時間制限があり、全部は見れず、ゆっくり買い物もできなくてやや心残りであった。

上野動物園を発見し「動物園へ、行きたい、行きたい、行きたい、……」と、文句を言い続ける就学前の子狸の手を引きながら駅まで移動した。

午後は初売り・着物展示会希望の班と分かれて行動。ところが松屋のエレベーターに列ができなかなかに上に昇れない、隣を見ると地階行きの箱に乗り上階へ向かうというテクニックが必要なのが判明した。

見たい場所が違うのが人間である。正月のデパートで別行動をとると合流するのに人をかき分けて急いでも40分ほどかかる。さらに、ほしいものを見てもっと回ってみたくするのが人間である。別グループは用が済んでも、まだ行きたいところがあると、さらにショッピングに励む。一方、飽きた連中は休みたいので場所を探すが、どこもかしこもいっぱい!目の前の車もこちらが待っていた40分間、ほとんど動かない。東京在住の親戚のアドバイスでカラオケ：ピックエコー銀座店に行くこととなった。1時間30分、4人で¥4500。昼のカラオケは喫茶店より安かった。いったいどこが不況なのだろうという東京を後にし、秋田に帰ってきた。子狸たちの「暗くて、さみしいなー。」「ほかの車、走ってなーい。」という声と母狸の「こんなに人が少ないのに立派な道路があり、電気ガス水道も完備されているのはありがたい。」という感想が入り混じっていた。 山 狸